KAIHO NAGANO KAIHO NAGANO KAIHO NAGANO

会報 ながの

第220号
令和８年夏



長野県土地家屋調査士会

土地家屋調査士倫理綱領

１．使　　命

不動産に係る権利の明確化を期し、
国民の信頼に応える。

２．公　　正

品位を保持し、公正な立場で
誠実に業務を行う。

３．研　　鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

「ネコな　測量屋の野帳　好き」表紙挿絵
（北信支部　清水泰之会員）

我が家のネコは気ままで身勝手。
不都合なことには耳も貸さず、無責任に思いのまま。彼女の思想なのか。
タイトル「測量屋の野帳」が先にありきで本を書きました。
書いてみると身勝手な私論・雑感。公式と違う方向の計算式。反測（量）意見も出るだろう。嫌だなぁ。
タイトル変更。「ネコ」と「好き」の主語は、測量（業）なのか、測量屋（人）なのか、野帳（物）なのか。曖昧模糊にして、ネコの思想で責任回避。
表紙も、あったものを援用しました。
この絵は、一昔前に描いてあった鉛筆スケッチです。

目　　次

会長挨拶…… 会長　田　口　正　幸 …… 2
着任の御挨拶…… 長野地方法務局長　中　出　幸　一 …… 3

第78回　長野県土地家屋調査士会定時総会議事録 …… 5

親睦ゴルフ大会に参加して…… 北信支部　小　坂　欣　三 …… 9
表彰者挨拶　東京法務局長表彰…… 佐久支部　井　出　玄　夫 ……10
…… 佐久支部　立　野　孝　一 ……10
長野法務局長表彰…… 伊那支部　小町谷　勝　也 ……11
…… 中信支部　宮　下　　新 ……12
日本土地家屋調査士会連合会長表彰…… 北信支部　猪　飼　健　一 ……13
長野県土地家屋調査士会長表彰…… 北信支部　的　場　秀　樹 ……14
…… 北信支部　金　子　一　郎 ……15

事業部会より
総務部での活動報告…… 総務部理事　小　池　純　平 ……16
会費改定のご報告と今後の健全な組織運営に向けて…… 財務部長　伊　藤　　肇 ……16
業務研修部の１年を振り返って…… 業務研修部長　久　保　智　則 ……17
広報部として任期の半分を過ごして…… 広報部長　宮　下　　寛 ……18
総会を終えて…… 社会事業部長　平　林　　章 ……19

長野県土地家屋調査士政治連盟の活動報告…… 幹事長　品　田　尚　志 ……21

支部だより
飯田支部
令和７年　土地家屋調査士会飯田支部研修旅行…… 飯田支部　宮　下　幸　宏 ……23
北信支部　～北信支部長就任１年経過して～…… 北信支部長　大　内　一　之 ……25
諏訪支部　現　　場…… 諏訪支部　國　枝　昌　之 ……26
伊那支部　デジタルな「備え」の重要性
―プロバイダー事業終了の教訓―…… 伊那支部長　西　村　　武 ……27
上田支部　暑い夏の時期…… 上田支部　三　井　英　之 ……28

信州青年土地家屋調査士会活動報告…… 代表　関　原　　司 ……29

令和８年度長野地方法務局管内当初人事異動……32

会務日誌……34
新入会員　自己紹介……41
詰将棋…… 北信支部　北　原　匡　尚 ……42
会員の動静……43
連載コラム　『続・Ｔ嬢のひとり言』 ……46
編集後記……48



第78回定時総会を終えて
―新年度のスタートにあたり

会長　田　口　正　幸

５月22日に開催されました第78回定時総会には、ご多忙の折、多くの会員の皆さまにご出席いただき誠にありがとうございました。

この一年間、本会役員や支部長の皆さまと丁寧に議論を重ねてきた「会費値上げの議案」が承認されましたこと、心より御礼申し上げます。会費の改定は、皆さまに新たなご負担をお願いする大変心苦しい決断ではありましたが、その必要性をご理解いただけたことに深く感謝いたします。

また、この一年間、会務の推進に力を尽くしてくださった理事・支部長の皆さま、そして事務局の皆さまにも、改めて厚く御礼申し上げます。日々の通常業務を堅実に進めていただいたからこそ、例年通りの会務を滞りなく進めることができ、会としての安定した運営が保たれました。皆さまのご尽力があってこそ、今回の総会での前向きな議論と結論につながったのだと強く実感しています。

今回の決定を受け、私たち執行部は、これまで以上に会費の使い道を丁寧に見直し、無駄のない運営を徹底してまいります。組織の在り方や経費の使い方を一つひとつ見直し、より健全で持続可能な運営体制を築いていく考えです。皆さまからお預かりする大切な会費をより有意義に活用していくことが、私たちの大きな責務であると、改めて身が引き締まる思いです。新年度を迎え、執行部一同、長野県土地家屋調査士会のさらなる発展を目指して全力で取り組んでまいります。

この原稿を執筆しているのは６月中旬ですが、本誌が皆さまのお手元に届く頃には、今年度の事業計画も本格的に動き出していることと思います。土地家屋調査士制度75周年を記念した記念碑の活用による広報活動をはじめ、高校や大学を中心とした出前講座、さらには令和８年度第１回会員研修会の準備なども、着々と進んでいることでしょう。

今年度は、皆さまの日々の業務を支え、組織の基盤をより強くするため、「タイムリーで有効な情報発信」「専門性の向上に役立つ研修会の充実」「市民の皆さまからより信頼されるための適切な業務指導」を柱に注力してまいります。また、急激な改革を求めるのではなく、現実的で着実な前進を積み重ねていく姿勢を大切にしていきます。

これからの新年度、これまで以上に精力的に会務に取り組み、会員の皆さまにとってより良い環境づくりを進めてまいります。会の発展は、会員お一人おひとりのご理解とご協力があってこそ成し遂げられるものです。どうか今後とも、変わらぬ温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまのますますのご健勝とご多幸、そして各支部の一層のご発展を心よりお祈り申し上げ、総会への御礼と新年度の挨拶とさせていただきます。



着任の御挨拶

長野地方法務局長　**中　出　幸　一**

本年４月１日付けで長野地方法務局長を拝命し、山形地方法務局から参りました中出と申します。長野地方法務局での勤務は初めてとなりますが、前任者同様、どうぞよろしくお願いいたします。

長野県土地家屋調査士会並びに会員の皆様には、平素から、当局が行う法務行政に対する深い御理解と登記制度の充実・発展のため、格別の御尽力をいただいておりますことに、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、近年、少子高齢化が進む我が国においては、相続登記が未了のままになっていることなどにより、所有者の把握が困難な所有者不明土地が数多く存在し、自治体における公共用事業用地の取得や農地の集約化が困難になるなどの問題が発生しています。法務局ではこの問題に対応するため、これまでに表題部所有者不明土地解消事業、相続土地国庫帰属制度、相続登記の義務化及び相続人申告登記等の数々の諸制度を実施してきたところ、本年４月１日には新たな施策として、住所等変更登記の義務化が開始しました。このように法務局では所有者不明土地解消に向けた様々な施策に取り組んでいます。

貴会の皆様におかれましては、表題部所有者不明土地解消事業における所有者等探索委員として活動いただいているところ、皆様の御協力が不可欠ですので今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、所有者不明土地対策の一つでもある法務局地図作成事業につきましては、令和７年４月から新たな10か年計画をスタートしました。この新しい整備計画では、これまでと同様に大都市の主要となる部分の整備を加速しつつ、防災・減災、災害からの復旧・復興や、まちづくりの促進の観点を踏まえた整備を全国で進めることとしています。令和７年７月に閣議決定された、いわゆる骨太の方針である「経済財政運営と改革の基本方針2025」の本文に「法務局地図作成事業の促進」が明記されており、法務局地図作成事業におけるその重要性は更に高まっています。

本年度につきましても、令和７年度から開始された「防災・まちづくり型法務局地図作成10か年計画」に基づき、全国の都市部の「人口集中地区」かつ「地図混乱地域」を対象に、今後10年間で200平方キロメートルの登記所備付地図を作成することとされているところ、当局におきましても、長野市内の中御所地区を実施地区と選定した上で、本年度、２年目作業を順調に進めているところです。引き続き、皆様方の積極的な御協力をお願いいたします。

また、登記・供託オンライン申請につきましては、利用しやすい環境作りと利用促進に取り組んでいるところ、取り分け不動産登記のオンライン申請につきましては、申請情報を利用した登記事項の自動作成機能等により、事務処理

の効率化が図られていますことに加え、調査士報告方式の導入により、申請時に添付情報の電子データを提供していただければ、それらの原本提示は原則不要となっていますので、引き続き、利用促進のための御支援と御協力をお願いいたします。

登記を始めとする様々な制度が時代に合わせて大きく変化していく中で、土地家屋調査士の皆様の果たすべき役割は、今後ますます重要となります。

不動産に関する権利の明確化に寄与し、もって国民生活の安定と向上に資するという皆様の使命を全うするため、これまでの経験と実績で培われた専門的知識をいかし、国民一人一人に寄り添いながら、引き続き御活躍されますことを期待しますとともに、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

略　　歴

平成９年７月	東京法務局民事行政部不動産登記部門（採用）
平成27年４月	和歌山地方法務局登記部門統括登記官
平成29年４月	東京法務局民事行政部第一法人登記部門統括登記官
平成31年４月	水戸地方法務局会計課長
令和３年４月	津地方法務局総務課長
令和５年４月	高松法務局総務管理官
令和７年４月	山形地方法務局長
令和８年４月	現職



令和８年度長野県土地家屋調査士会親睦ゴルフ大会に参加して

北信支部　小　坂　欣　三

令和８年５月23日、長野県土地家屋調査士会第78回定時総会の翌日、恒例となっている親睦ゴルフ大会が長野カントリークラブにて開催されました。今年は北信支部が担当し、早朝こそ肌寒く風も強めでしたが、９時31分、戸隠コースより７組28名が元気にスタートしました。

私は４組目で、伊那支部の三澤さん、中信支部の伊藤さん、そして同じ北信支部の中村さんとご一緒させていただきました。長野カントリークラブは、フェアウェイを外すと両サイドの林に捕まりやすく、ボギー以上がほぼ確定してしまうホールが多い難コースです。また、グリーンは飯綱山からの吹きおろしの影響で芝目が強く、パッティングでは常に山の位置を意識しなければ大きく曲がるという特徴があります。

スタート時は風こそ気にならなかったものの、空気は冷たく、最初のティーショットは右へ押し出してOBという苦しい立ち上がりとなりました。しかし「自分はこんなものだ」と気持ちを切り替え、なんとかダボでまとめると、その後は雑談しながら今思えば淡々とプレーを重ねており、前半はパー２つ、バーディー１つの42と上出来のスコアで折り返しました。



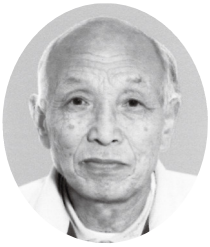
昼食はわずか30分という短い休憩でしたが、集中力を切らすことなく後半へ。後半はスコアを崩さないよう我慢のゴルフが続きましたが、高妻コースの最後の３ホールは特に難しく、ダボを１つ叩いてしまいました。それでもバーディー１つ、パー４つの40でまとめることができ、全体として満足のいくラウンドとなりました。

全員が怪我なく無事にホールアウトし、クラブハウスにて表彰式が行われました。グロスでは中信支部の筒井さんが驚異の79で見事１位。新ペリア方式では、通常では考えられないほどハンデがうまくハマり、なんと私が優勝することができました。賞品は立派なフルーツ盛り合わせで、まるで会社社長のお見舞い品のような豪華さに驚かされました。

天候の変化やコースの難しさもありましたが、同組の皆さんとの和やかな雰囲気の中、親睦を深めながら楽しくラウンドすることができました。参加された皆様、そして大会運営にご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。来年もまた元気に参加できればと思います。



表彰者挨拶



東京法務局長表彰受賞の御礼

佐久支部　井　出　玄　夫

拝啓　初夏の侯、皆様におかれましては益々のご活躍のこととお喜び申し上げます。

このたびは、第78回長野県土地家屋調査士会定時総会において、東京法務局長表彰状を賜り、厚く御礼申し上げます。

身に余る光栄に存じますとともに、ご指導ご支援を賜りました法務局の方、調査士会の方、先輩、同僚や後輩の皆様に心より感謝申し上げます。

受賞できましたのは、日頃より、公私にわたり、日々支えてくださった皆様のお陰と実感しております。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

これからも、受賞者として恥じぬよう、初心に戻り、いただいた一つ一つの仕事に向き合い、業務に励む所存でございますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

誠にありがとうございました。

敬具





東京法務局長表彰を受賞して

佐久支部　立　野　孝　一

令和８年５月22日、土地家屋調査士会第78回定時総会において東京法務局長表彰を受賞できたことは、栄誉であり大変光栄に思います。これまでお世話になりました先生方や法務局職員の方、同僚の皆様のご指導のおかげだと感謝いたします。

普通の会社勤めをしていたのですが、学生時代の友人が司法書士事務所を開業していて土地家屋調査士という仕事があることを知りました。自分が独立するなら土地家屋調査士試験に合格するしかないと思って奮起して、昭和62年に合格、昭和63年に入会しました。

測量もまったく経験なく、いきなり開業でしたから三脚もトランシットも購入して初めて使

用しました。

とにかく時間はあるので、ゆっくりでもいいから丁寧で間違いのない仕事をしていこうとその時決めました。

家族や知人に測量のお手伝いをお願いしながら悪戦苦闘しながら業務を行ってきました。

平成20年に息子も入会開業してお互いに助け合いながら（衝突しながら）仕事ができるのは幸せなことです。

令和６年度令和７年度佐久支部長として支部長会議等で本会の会長・副会長・理事・他支部長の会員の皆様の色々な意見・考えを聞くことができ良い経験をさせていただきました。土地家屋調査士会は会長・副会長・理事・各役員・事務局の方々が真剣に熱心に運営されていることを体験させていただき大変勉強になりました。

佐久支部では公共嘱託社員が退会される方がいて入会してほしいと公共嘱託から依頼があり微力ながらお役に立てればと令和７年の１月に入会しました。

今後の目標は土地家屋調査士佐久支部の先輩である斎藤先生・佐藤先生・依田先生は90歳近くまで現役で調査士業務をされておりましたので私も自信はないけれど健康に留意して先輩先生がたを目標にもう少し頑張って社会のためにも調査士会のためにもなるよう努めていきたいです。





長野地方法務局長表彰を受賞して

伊那支部　**小町谷　勝　也**

この度は長野地方法務局長表彰の栄誉を賜り誠にありがとうございました。ご指導いただきました諸先輩、友人他多くの方々のおかげと本当に感謝しております。

私は、1999年に合格し、2000年に開業しました。1999年の合格、そうです、今年から年金を貰う私世代の方にはわかると思いますが、ノストラダムスの大予言により７月に人類が滅亡するといわれた年です。幸いに何事も起こらず、試験に合格し、現在に至っております（私にとっては天地がひっくり返るような大事件でありましたが(笑)）。

この記念？すべき年の合格者は県内で７人でした。そのうち６人が開業し、支部、本会等で活躍しておりまして、特に今年は本会において大活躍されております。

聞き飽きた方もいらっしゃるかもしれませんが、ここでチョットだけ７人の話をさせていただきます。

７人は1999年12月に調査士会館で顔合わせを

行いました。もちろん初対面、このまま解散では淋しいと思い、数週間後、岡谷駅前の居酒屋で２回目の顔合わせを行いました。お酒が入ると一気に懇親が深まり、この関係を続けていこうということになり、それから７年間、持ち回りで幹事となり「七人の士（侍）」と称し１泊旅行を行いました。７年間県内各地の温泉宿でより懇親を深めたことは今でも懐かしく、いい思い出になりました。当時は仕事も暇でお互いの現場を手伝いに行ったりもしましたが、現在は皆さん忙しく、仕事の手伝いどころか飲み会も出来なくなってしまいました。あれから20数年がたった今でも、総会等で会うとあの頃がよみがえります。いい友人に巡り会え本当にありがたいことだと思っています。

さて、私がこの業界に入って印象に残っていることは、保科清人先生の事務所でお世話になっているときでした。30年以上前になるでしょうか、地元区の長年の懸案事項であった、山を分筆し、道路として市に寄付するという業務が完了しました。それから何日か経ち私が法務局で閲覧をしていたところ、区長さんと偶然お会いしました。区長さんが「この間は本当にありがとうございました。地元区として何年も進まなかった事業が解決し本当に助かりました。保科先生によろしくお伝えください」と言われ握手をされました。補助者の私に握手までされ、驚きとともに本当にうれしかったんだと感じたものでした。私たちにとっては、一つの仕事が完了しただけと思っていてもお客様にとっては、本当に大切な仕事である場合も数多くあるのです。普段の業務は、間違うことなく、早めの完了を心がけ日々行っていますが、お客様にとっては一生に一度の依頼かもしれません。一つ一つの業務にお客様の思いがあることを少しでも胸にこれからも業務に励んでいかなければいけないなあと思わせてくれた出来事でした。

その後独立して26年、あっという間ではありましたが、多くの方々に助けられ、ここまで続けることが出来ました。私にはまだ未成年の子供がいるため、体調に気を付け、もう少し頑張らなくてはなりません。これからもいろいろな方々にお世話になるかとは思いますが、初心忘るべからずで業務に励みたいと思います。

この度は本当にありがとうございました。





長野地方法務局長表彰を受賞して

中信支部　宮　下　　新

この度、長野地方法務局長表彰の栄誉に浴しました。開業から20余年、生業として土地家屋

調査士をつづけてこられたのも、偏に長野地方法務局の職員の皆様や土地家屋調査士の先輩、同僚の皆様のご指導があったからこそと、心より感謝申し上げます。

思い起こせば開業当初は、公図や地図の見方もあまり知らないまま境界立ち会いに臨み、苦戦したことを思い出します。年間150から200件の境界立ち会いをひたすら行っているうちに、現地踏査の段階で、境界立ち会いの進め方がイメージできるようになりました。しかしながら、立ち会いを迎えてみると、曲のある方や自分の都合だけを話す方が隣接地権者として出席され、説明（説得）に難儀することがあります。この仕事は、その人間の本性が見えてしまうことから辟易するときもありますが、社員もおりますので、もうすこしがんばってみようと思っております。

この受賞を契機として、初心を忘れずに、不動産登記制度の円滑化に寄与し、信州の地域社会の発展に貢献できるよう、より一層の知識・技術向上と誠実に業務を遂行する所存です。

因みにこの文章の一部は、私のしもべのジェミニくんですが、土地家屋調査士はAIに取って代わられない資格です。みなさん頑張りましょう（W）





日本土地家屋調査士会連合会長表彰を受賞して

北信支部　猪　飼　健　一

５月の第78回定時総会におきまして日本土地家屋調査士会連合会長表彰を賜り誠にありがとうございました。

調査士会の役員を担ったことの会の運営の寄与と制度の向上発展に対する功績との理由ですが、自らの足跡を顧みればそのような評価は恐縮するばかりです。入会以来あっという間の28年間で入会時に５歳だった長男が今や立派なオッサンになっているのを見れば自分もジジィになってしまったんだと鏡を見て打ちのめされます。

この感謝の気持ちは脱サラ直後に私を導いてくれた義父や、これまで様々な場面でご指導いただいた数多くの尊敬する先輩方に捧げたいと思います。

既にご指導いただいた多くの先輩方が退会され、名簿登載順でも随分と上になり、県や支部の行事の懇親会で懐かしい話ができる方が少なくなってしまいました。本当に寂しい限りです。

そしてもうしばらく後は私が降板する番にな

るのだと日々痛感してます。私がこれまでの業歴で確実に言えることは、会で携わってきた委員会や役員の仕事は本当に楽しかった！と言うことです。

昨年の大町での総会の最後のご挨拶と御礼を申し上げたときに頂いた拍手は忘れられません。あーなんて幸せなんだろう！なんてみんな優しいんだろう（笑）って。たとえ全て酔っ払いたちのノリだったとしても一人勝手に感動してました。

役員本人は皆日々自らの仕事と並行して一生懸命会務に仕えていますが、なかなかその活動を会員に見て頂けませんし、その効果もわかりづらいものですが、最後に拍手なんかしてもらえれば苦労や努力も報われます。

どうか現役の役員、委員の皆さんを応援してあげてください。ダメ出しも応援のうちです。一会員に戻った立場から見える風景は新鮮なので、初心に返り現在10年ぶりに14条地図作成作業に携わって地元に貢献しようと奮闘してます。

心配なのはかつてのようにこの暑さについて行けるか、同じ班の同僚に迷惑かけないよう体と相談しながら納品まで頑張ろうと思っています。

皆さんも炎天下の作業は十分体にお気を付け頂きながら、物価高に負けないよう良い仕事をして土地家屋調査士が世間に羨まれる経営をお続け下さい。ありがとうございました。





長野県土地家屋調査士会長表彰を受賞して

北信支部　**的　場　秀　樹**

このたび、長野県土地家屋調査士会長表彰という栄誉ある表彰を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成14年（2002年）に開業し、気がつけば24年の歳月が流れておりました。そして何より、開業時期を同じくする田口正幸会長より、このような形で表彰していただけることに、言葉では言い表せない不思議なご縁を感じております。

この24年間を振り返りますと、まさに業界は「激変の時代」であったと実感しております。開業当時は、登記申請といえば書類を持参して法務局へ赴く「紙による申請」が当たり前でしたが、現在ではパソコンを通じて行う「オンライン申請」が主流となりました。

また、測量の現場においても、当時はトータルステーションによる測量が中心でしたが、現在ではGNSS測量や三次元点群測量（地上レーザ測量、UAV写真点群測量、UAVレーザ測量）が普及し、公共座標との連動が不可欠な時代となっています。私自身、年齢を言い訳にするこ

となく、こうした技術革新の流れに後れを取らないよう、日々知識と技術の習得に努めるとともに、年齢にとらわれることなく、柔軟な発想や優れた技能を持つ方々から積極的に学ぶ姿勢を大切にしてまいりました。

開業以来、業務に携わる中で、夜遅くまで図面や資料と向き合いながら考えても答えが見つからず、行き詰まることが幾度とあり、そのような時には諸先輩方に相談し、豊富な経験に裏打ちされた的確な助言をいただくことで、問題を解決することができました。今日まで歩みを進めてこられたのは、ひとえに諸先輩方の温かいご指導とご支援のおかげであり、改めて深く感謝申し上げます。

今回の受賞を励みとし、いつも感謝の気持ちを忘れることなく、今後も土地家屋調査士としての使命、公正と研鑽を重ねながら誠実に業務に向き合い、一層成長してまいりたいと思います。



長野県土地家屋調査士会長表彰を受賞して

北信支部　**金　子　一　郎**

このたびは、20年の節目に会長表彰を賜り、誠にありがとうございます。

先輩諸氏のご指導、同僚の皆様の協力、多くの方々の支えがあって今日があります。今後も職責を果たし、地域に貢献できるよう努めてまいります。ありがとうございました。





祝　辞



懇　親　会

事業部会より

総務部での活動報告

総務部理事　小　池　純　平

会員の皆様方におかれましては日頃より本会の会務運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

支部再編や支部協力金の値上げなど激動と改革の時代だった北信支部長時代を終え、本会総務部理事としての活動を開始してから早いもので一年が経過いたしました。私は主に本会理事会活動を一般の会員様にお伝えする理事会通信の作成を担当しております。私は物事を伝えたり、書いたりということにおいてはそれほど嫌いではないので何とかこなしておりますが、そうは言っても正直申し上げれば結構大変です。

さて、総務部という事業部は普段何を行っているのかと申しますと、他の事業部に属さないことについては全てつかさどるといっても過言ではありません。その概ねの内容につきましては会則第56条に列挙されておりますが、実際はもっと色々あるとだけ申しておきます。

中でも苦情の申立てについては本会でも苦労するところであり、その対応に多くの労力と時間を要することがございます。大抵は些細な対応の誤りによるものであり、初期の対応が正しければ防げたであろうと思えるような事案が多いと感じております。昨年度開催した苦情処理や懲戒処分についての研修会を通して、会員一人一人が自覚を持って、日々の業務を丁寧に遂行していただき、苦情申立に繋がる事のないように励んでいただきたく切に願います。

さて、先日開催された本会総会では皆様のご理解とご協力により無事にすべての議案が承認されました。ありがとうございました。

会員の皆様が今後もずっと安心して土地家屋調査士業務を行えるように、総務部一同は勿論、我々本会理事一同は誠心誠意、会務に取り組んで参りますが、それには一般会員の皆様のお力も不可欠でございます。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それからいささかの応援もいただれば幸いです。

会費改定のご報告と今後の健全な組織運営に向けて

財務部長　伊　藤　　肇

令和８年５月22日開催の第78回長野県土地家屋調査士会 定時総会において、第６号議案 本会「会則　別紙　入会金及び会費に関する規則」の一部改正についてご承認をいただきました。会費の値上げという、大変重く心苦しい議案に対しまして、会員の皆様からご理解とご同

意をいただけたことに、財務担当者として安堵するとともに、その責任の重さを改めて痛感しております。

当会は、平成26年に比例会費を廃止して以来、定額会費のみでの運営を続けてまいりました。しかし、この間に60名余りの会員が退会され、運営の柱である会費収入は年々減少を続けております。これまでは前年度からの繰越金を取り崩すことで会務を継続してまいりましたが、その繰越金が枯渇する前に、苦渋の決断として今回の会費改定案を提出させていただいた次第です。

当然ながら、会費改定の提案に先立ち、会員名簿のデジタル化や、資料送付に用いていたレターパックの廃止などの経費の削減に着手いたしました。さらに本年度からは、研修会の開催通知・出欠確認に使用していた往復はがきも廃止することを決定しております。一方で、各事業の安易な縮小・廃止は、会活動そのものの衰退を招きかねません。そのため、「活動の質を維持しながら支出を抑える」ことを基本方針としつつ、もちろん役割を終えた事業については適宜廃止を含めた見直しを進めてまいります。

また、今回の改定には外部環境の変化も大きく影響しております。日調連会費が令和９年度より会員１人あたり月額1,000円、関東ブロック協議会費が令和８年度より１人あたり年額300円増額されることが決定しており、これらの増額分もあらかじめ織り込む必要がございました。

これらを踏まえ、改定後の会費額の算定にあたっては、慎重にシミュレーションを重ねてまいりました。会員数を年齢別に集計して今後の動向を予測し、会費収入を試算。支出面においては、前述の通り事業費の削減を進める一方で、近年の物価高騰による経常費の増加傾向も加味いたしました。その結果、今後10年間は安定して運営を維持できる水準として、最終的に「4,500円」という大幅な増額をお願いせざるを得ないという結論に至りました。

会員の皆様から納めていただく大切な会費があってこそ、当会の活動は成り立っております。無駄な支出を排除する一方で、必要なところにはしっかりと投資を行う「生きた予算執行」を行い、健全な運営に努めてまいります。先達から受け継いできた長野県土地家屋調査士会を、未来の調査士たちへ確かな形で引き継いでいくための会費改定であったことを、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

なお、総会の席にてご提案いただいた「スマートシュリンク（賢い縮小）」という考え方につきましても、今後の組織運営を巡る大変重要な視点として重く受け止めております。持続可能な運営体制を築くための貴重なご意見として、今後の検討の参考にさせていただきます。

業務研修部の１年を振り返って

業務研修部長　**久　保　智　則**

令和７年度の定時総会を経て、業務研修部長という大役を仰せつかってから、早いもので一

年が経過いたしました。私にとって初めて経験する業務研修部の活動であり、当初は勝手がわからず戸惑うことも多々ありましたが、部員の多大なる協力もあり、まだまだではありますが、なんとかこの一年間の職責を果たすことができたのではないかと感じております。

思い返せば、就任早々に法務局より「能登半島地震のパラメータ変換に伴う地図修正作業」の通知が入ったことが始まりでした。何をどのように進めるべきか困惑する中、この修正作業によって通常業務にどのような制限が生じるのかを会員の皆様へ正確に伝えること、そして法務局と調整を行い、影響が出る期間や範囲を把握することに努めました。非常に困惑する事態からのスタートではございましたが、現場からの大きな混乱や苦情もなく乗り越えられたことは、会員の皆様の協力のおかげと深く感謝しております。

このような始まりでしたが、昨年度の会員研修会では、初の試みとして「業務報酬の算定」に関するグループ研修を企画いたしました。おかげさまで出席率は50％を超え、大変ご好評をいただいたと認識しております。今年度もより多くの会員の皆様に参加していただけるよう、こういったグループ研修も取り入れ、さらに魅力的な企画を検討してまいります。

さて、今年度は、二年に一度開催される本会の新人研修会に加え、５年１サイクルとなる日調連の年次研修の初年度を迎えます。前サイクルの年次研修におきましては、残念ながら全員の履修には至りませんでしたが、今サイクルでは５年間で確実に全員が履修できるよう、計画的な周知徹底を図ってまいる所存です。

また、同主催の新人研修会につきましては、今年度から集合研修が各ブロック単位での開催へと移行いたします。来年二月に茨城県で開催される予定となっており、現在その対応や準備に追われているところです。

実務面では、この四月より住所変更登記が義務化されたことで、一連の改正民法等がすべて施行されました。今後の動向を注視しつつ、最新の法改正や法務局との折衝、さらには測量技術の進歩に常に対応できるよう、会員への情報周知や研修内容の充実に反映させていきたいと考えております。

今年度も業務研修部が一丸となり、会員の皆様の業務をサポートできるよう全力を尽くしてまいります。皆様の温かいご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

広報部として任期の半分を過ごして

広報部長　宮　下　　寛

去る５月22日の定時総会において、令和７年度事業報告及び令和８年度事業計画をご承認いただきました。広報部長としての任期も折り返し地点を迎えましたので、この一年を少し振り返ってみたいと思います。

一年前、広報部長を拝命した際には、前任者から大変丁寧な引継ぎ書と分かりやすい説明をいただきました。その時は「なるほど、これで

大丈夫だ」と理解したつもりでおりました。しかし、いざ実務が始まってみると、「分からないことが分からない」という状態からスタートした頼りない広報部長の誕生でした。

それでも何とかここまでたどり着くことができたのは、ひとえに周囲の皆様のお力添えのおかげです。特に担当副会長と担当理事には、まるで遭難者を救助するかのように的確な助言と支援をいただきました。また、これまで二回発行した会報の編集作業においては、編集委員の皆さんが豊富な経験と冷静な判断力を発揮してくださり、広報部長が右往左往している間にも着実に作業を前へ進めてくださいました。

さらに、寄稿をお願いした会員の皆様には、快く執筆を引き受けていただいただけでなく、締切もきちんと守っていただきました。そのおかげで編集や校正作業も円滑に進み、無事に会報をお届けすることができました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

広報部は社会事業部と連携する機会も多くありますが、社会事業部の皆様からも様々な場面で温かいご支援をいただきました。おかげさまで広報活動の幅も広がり、多くの経験を積むことができました。

こうして一年を振り返りますと、「自分が頑張った一年」というよりも、「多くの方に支えられながら勉強させていただいた一年」だったと実感しています。広報部長という立場ではありますが、実際には皆様に育てていただいている最中なのかもしれません。

任期後半では、これまで学んだことを糧に、新しい広報の取り組みにも挑戦していきたいと考えております。会員の皆様に少しでも有益な情報をお届けし、また本会の活動を広く発信できるよう努めてまいりますので、今後ともご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりますが、この一年間お力添えをいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

総会を終えて

社会事業部長　**平　林　　章**

皆さまのお力添えにより総会も無事に終えることができ、新たな年度を迎えることとなりました。ご参加くださった皆さま、そして日頃より会の活動にご協力いただいている会員の皆さまに、心より御礼申し上げます。

総会での事業報告・事業計画の説明にあたっては、皆さまに納得いただけるよう十分な準備をして臨んでいるつもりですが、まったく不安がないわけではありませんでした。私はとっさに言葉をまとめることが得意ではないため、正直なところ「どうか質問がありませんように」と願いながら、毎回ドキドキして報告しています。そんな私とは対照的に、新入会員の皆さんの堂々とした挨拶は、とても印象的でした。一人ひとりが将来の調査士会を担っていく若い力なのだと、頼もしさを感じました。

総会翌日には親睦ゴルフ大会が盛大に開催さ

れましたが、私はゴルフ未経験のため、いつもなら帰路につく前に少し寄り道をする程度のところを、今回は北信支部の松澤理事が計画してくださった松代散策にご一緒させていただきました。

散策は真田宝物館から始まり、文武学校、松代城跡、松代象山地下壕などを巡り、昼食には名物のとろろご飯の御膳をいただきました。名前だけは知っていた史跡や名物を実際に味わうことができ、さらにお土産まで用意していただくという、まさに至れり尽くせりの一日でした。

とても楽しい時間でしたが、準備してくださる方の負担も大きいため恒例化を望むものではありません。ただ、また機会があればぜひ参加したいと思っています。

～総会の緊張から解放された翌日の松代散策～



計画：松澤理事　協力：北信支部

それでは改めて、社会事業部の報告をいたします。

◇出前講座・出前授業

社会貢献活動の一環として取り組んでおります出前講座・授業につきましては、昨年度より高校を対象とした出前授業を新たに開始いたしました。今年度は、現時点で大学と高校あわせて４校からご依頼をいただいており、調査士業務に関する座学に加え、トータルステーションやGNSSを用いた測量体験も実施いたします。

なお、座学のみであれば部員１名でも対応可能なため、引き続き受け入れは可能です。現在は開催地域が南信に偏っておりますので、今後は全県へと広げていければと考えております。

- ７月21日（火）　飯田OIDE長姫高等学校　建築科
- ７月30日（木）　下伊那農業高等学校　測量競技大会
- ９月11日（金）　信州大学　経法学部
- 11月４日（水）　飯田OIDE長姫高等学校　社会基盤工学科

◇全国一斉不動産表示登記無料相談会

本年度も、土地家屋調査士の日である７月31日に合わせ、連合会主催の全国一斉不動産表示登記無料相談会を開催いたしました。今回は下記日程にて開催し、多くの皆さまにご相談いただきました。準備から当日の運営までご尽力くださった担当支部の皆さまに、心より感謝申し上げます。

- ７月18日（土）　佐久支部・諏訪支部
- ７月25日（土）　中信支部
- ７月27日（月）　北信支部

どこへ行っても、誰に尋ねても、土地家屋調査士をご存じない方が多いと感じます。しかし、それは決して人気や関心の問題ではなく、単に知る機会が限られているだけだと考えます。

今年度も、社会事業部としてその“知るきっかけ”を広げる活動に力を入れてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

長野県土地家屋調査士政治連盟の活動報告

幹事長　品　田　尚　志

平素は、長野県土地家屋調査士政治連盟にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

ホームページに掲載し、既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、本年２月27日に松本商工会議所にて、当政連定時大会が開催されました。議長に北信支部の猪飼健一会員、副議長に同じく北信支部の竹田元会員にお願いし、上程された全ての議案は滞りなく可決されました。

今大会の大きな課題は会費の値上げについて、議案として上程するか否かでしたが、下記のとおり、松本会長より説明がありましたことを重ねてご報告申し上げます。

全国土地家屋調査士政治連盟にて、本年度より負担金が従前の一人あたり3,500円から5,000円へと大幅に増額されました。これを受け、本連盟においても次年度予算案として、会費を金12,000円へ値上げする議案が役員会において起案されましたが、現在、多額の前年度繰越金があることから、今期における会費値上げの議案提出は見送ることといたしました。当面は、繰越金の取り崩しにより、負担金増額分への充当が可能であると判断しております。なお、繰越金が増加した要因としては、コロナ禍の影響により活動が大きく制限されていたこと、ならびに選挙戦の実施が少なかったことが挙げられます。コロナ禍明けとなった一昨年度には、車座集会を開催するなど、各選挙区において積極的な活動を行った結果、単年度決算は約40万円の赤字となっております。このことから、繰越金による充当はあくまで当面の措置であり、将来的には会費値上げを検討せざるを得ない時期が到来するものと考えております。昭和25年（1950年）の土地家屋調査士法成立以来、その歴史を振り返っても、税務署の嘱託職土地調査員と政治家との連携がその礎となっており、政治連盟はその前身とも言える存在であります。

次に、３月17日、18日の２日間にわたり、都市センターホテル（東京）にて全国土地家屋調査士政治連盟の第26回定時大会が開催され、令和７年度の事業報告の後、収入支出決算報告が承認され、続いて、令和８年度の活動方針及び収入支出予算が審議されました。全ての議案が多少の意見と要望があったものの、滞りなく可決されました。

活動方針として、①狭あい道路の解消、②官民境界確定事務の民間委託の実現、③道路内民有地の解消、④報酬の適正化、⑤会員の増強及び組織の強化、⑥政治との連携、が掲げられました。

いずれも、我々の業務に直結した問題であるため、実現の方向に向かって積極的な活動を希望します。

大会後の慰労会においては、多くの国会議員が出席し盛会な時間が流れました。

議員連盟会長の岸田文雄元首相には、我々の活動について、多大なご支援を賜り、地元の議員として、若林健太議員（１区）も駆けつけていただき、こちらも熱いご支援をいただきました。

翌日、午前中に全国会長会議が開催され、より詳細な活動が報告されました。午後は、衆議院議員会館及び参議院議員会館を訪問し、議員連盟加入のお願いと宮下一郎議員（５区）については重ねて当会顧問のお願いをさせていただきました。

以上、定時大会及び全調政連定時大会の報告でしたが、両大会前に、第51回衆議院議員選挙が行われました。当政治連盟としては、特定の議員を会員に推薦することはしませんが、自由民主党及び中道改革連合の議員を連盟として推薦し、結果、当県第１選挙区から第５選挙区まで、自民党議員が占めることとなり、当連盟として、前記のとおり当選議員に議員連盟加入の依頼をし、承諾を頂戴しました。また、中道の羽田次郎参議院議員には、当連盟顧問の委嘱をさせていただきました。

平素は、会員の皆様には活動が見えない連盟ですが、報告会及び勉強会に随時出席することにより政治家との親交を深め、調査士制度発展のため政治面での対応に備えております。今般、北信支部より要望がありました長野建設事務所の職員増加に係る陳情も、その成果と言えます。

以上のとおり、連盟としては、今後も制度及び会員の個々の職務の充実に寄与して行く所存でありますので、当連盟の加入率が、未だ68.5％となっている状況で、未加入の会員の皆様には何卒、ご加入をご検討していただきますよう、宜しくお願い申し上げます。



全調政連大会風景


懇親会での岸田議員


懇親会での若林議員

支部だより

令和７年　土地家屋調査士会飯田支部研修旅行

飯田支部　宮　下　幸　宏

去る令和７年11月16日（日曜日）～17日（月曜日）金沢方面へ、恒例行事となっている支部旅行へ参加して参りました。

【旅　程】

朝６：00飯田出発　→　千里浜海岸・千里浜なぎさドライブウェイ　→　震災語り部観光列車（穴水駅から七尾駅）　→　【昼食】幸寿し本店　→　アパホテル金沢中央　チェックイン　→　【夕食】かなざわ石亭　→　朝８：45金沢出発　→　隠し階段　切腹の間・落とし穴まで　妙立寺(忍者寺)　→　海産物お買い物　近江町市場　→　兼六園　→　【昼食】通称金澤マルシェ大人気バイキング　→　飯田　といった順路を予定していましたが、時間の都合上、兼六園には寄らずに帰ってきました。さて、兼六園に寄れなかった件ですが、支部旅行でクレームを言う人はいませんでしたが、一般の会社関係の旅行だったらクレーム案件となっていたことでしょう。（個人的には、兼六園を歩くことがなくなりホッとしました。）

【感想・締めくくり】

例のごとく出発後、研修問題の最低得点者が旅行記を書くことになりました。

北陸地方には、ほとんど行ったことがなく、20年ほど前、一度知人の仕事の付き添いで金沢市に行ったほか、30年ほど前に能登半島の付け根の辺りの温泉（温泉名を忘れてしまいました）に泊まっただけです。

●研修問題のなかで、気になった問題を掲載します。

【第13問　金沢の芸妓の人数は、およそどれくらい？】

この問題は正解したのですが、答えは「40人」とのこと。

旅行記を書きながら、ウィキペディアで日本





最大規模と思われる京都市の芸妓さんの人数を調べたところ2024年時点で155人となっていました。

金沢市の人口は44万人ほど、一方、京都市の人口は137万人ほどとなっており、観光地や人口の規模からみて、京都市の方が芸妓さんの数としては、圧倒していると思いきや、金沢市も意外に健闘していることに驚きました。まぁ、京都市の方には舞妓さんもいるので、単純な比較はできませんが……

ついでに、ネットで長野県の芸者さんの人数を調べたところ、唯一、千曲市の戸倉上山田温泉に残っているだけのようです。さらに深掘りすると、昨年の話となりますが、次のような記述がありました。「（前略）かつて400人以上いた芸者が20人ほどに減少する中、（以下省略）」……　驚くことに長野県には20人もいるのです。しかも全盛期には400人もいたようです。戸倉上山田温泉、人口比で言うと、断トツで芸者さんの割合が大きいのでは？と思います。ところで、よく分からないのは、戸倉上山田温泉の方は「芸者」となっているようです。そもそも「芸妓」と「芸者」は異なるモノなのだろうか？

【第22問　その藩祖（前田利家のこと）が城下で行っていた習慣は？】

この問題も正解したのですが、答えは【家臣の靴下は右足から履かせる】でした。旅行記を書いている中、「家臣に右足から靴下を履かせる必然性」に疑問を持ち、今回改めてネットで検索したのですが、当該問題に関する記述は出てこず、未だに気になる問題ではあります。個人的には、靴下を右足から履こうが、左足から履こうが、どうでも良いようなことに思います。この件を自分に照らし合わせると無意識に靴下も、靴も右足から履いているようです。

【第23問　３代目加賀藩主 前田利常は加賀藩を守るため、徳川幕府に警戒されないよう江戸城内でうつけぶりを示していましたが、どんなうつけぶりだったでしょうか？】

この問題も正解したのですが、答えは【鼻毛を伸ばした】でした。

私が子どもの頃、ある漫画の中の話ですが、格闘技の試合中、相手の鼻毛が気になって試合に集中できず負けてしまう話を読んだことがありました。当時、子ども心でも、そんな勝つか負けるか緊張する場面で、対戦相手の鼻毛が気になって試合に負けるなんてあり得ない、漫画の中の創作だ…と思っていました。ところが、この仕事を始めた後、最も緊張するはずの土地の境界立会の場面で、隣接土地所有者の鼻から異様に長く太い鼻毛が見えてしまったのです。立会中、どうしてもその鼻毛のことが気になり境界立会に集中できなくなってしまいました。そのとき、子どもの頃読んだ あの漫画の中の話は、ウソではなかったと実感した次第です。

もう一言、第１日目の昼食で寄らせて頂いた石川県七尾市　幸寿司本店さん。忘れられない美味しさでした。

旅は短かったですが、心がほどけるような時間でした。

また、御多用のなか、素晴らしい旅行を計画していただいた旅行委員の方々につきましては、大変お疲れさまでした。多くの学びと出会いがあり、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

～北信支部長就任１年経過して～

北信支部長　大　内　一　之

令和７年に北信支部長に就任してからあっと言う間に１年が過ぎました。２年目になり少しは慣れてきたと自分では思っていますが…と言う事で私が支部長に就任してからこの１年間に北信支部で行われました事を紹介したいと思います。まず支部長に就任して最初に行ったのが令和７年９月26日に開催しました北信支部研修会です。この研修会は北信支部発足１周年を記念して著名な講師を招いた研修会にしようと役員会で検討したところ、日調連広報委員も兼任している北條副支部長の尽力により元和歌山・横浜法務局長、公証人を歴任され、また「Ｑ＆Ａ詳解土地台帳」をはじめ多くの著書を執筆している新井克美先生を宮崎県からお招きして開催する事が出来ました。研修会は９月26日の金曜日でしたが新井先生は前日の木曜日に長野に到着して前夜は我々北信支部役員と翌日の研修会の打合せも兼ねて懇親会を行いました。さて当日の研修会は前半第１部で松本誠吾元会長の「土地家屋調査士の歴史を振り返る、現在、未来」そして後半第２部にて新井先生の「国公有地管理に関する諸問題」の２部構成での研修となり、北信支部会員はもとより新潟県上越支部の会員や司法書士会長野支部会員、また長野市をはじめ近隣市町村の職員など多数出席して頂き盛大な研修会となりました。また新井先生は調査士会等の士業の研修会の他、県や国など官公署でも研修依頼があり、この前月は法務局職員の研修会で午前３時間、午後３時間の６時間の研修をしたそうで今回の講演時間の２時間半では話し足りないと仰っていました。研修会の後はホテルにて懇親会、その後２次会は権堂のお店に移り、話し足りなかった講演をして頂きました。そして翌日土曜日は我々支部役員と善光寺、戸隠を観光して新井先生は帰路に就かれました。

そしてその次の研修会は年明け令和８年になり新年会を兼ねた北信支部合同研修会が令和８年２月６日にあり、前半は講談師三代目松林伯知先生による「新春講談会～伝統芸能に触れ楽しみ学ぶ話し方」との講談会、後半は本会伝達研修「会員に対する苦情の処理と懲戒処分」と





講談会のあとは懲戒事例とまさにアメとムチの様な内容の研修会でした。



さて、研修会の事を述べてまいりましたが、北信支部ではその他にも毎年11月頃に行われます支部合同旅行や毎奇数月の月末に長野市役所で開催しています無料相談会、また偶数月の月末に開催している長野市監理課との境界問題連絡協議会など多くの行事がございますが、そちらは他の会員が記事にしておりますので今回は紹介だけで終わりたいと思います。

北信支部長としての任期はあと１年間ありますので引続きよろしくお願い致します。



現　　場

諏訪支部　**國　枝　昌　之**

全国各地で熊が出没している。

ある朝、地元の資源物分別回収の当番員で回収作業に参加をしたのだが、その際に「熊よけのスプレーいるだろう、資源物なら熊来ないから大丈夫」と熊がいることが前提で会話をしている。数年前には考えられないことだ。

私は、主に茅野市で仕事をしているので蓼科高原の別荘地の仕事もよくするのだが、今のところ現場で熊には遭遇していない。

しかし、数年前から私自身が現場で感じていることがある。

それは鹿だ。私が仕事を始めたころは別荘地内でも鹿はいたのだが、近年は異常なほど鹿が別荘地内を徘徊している。

ハンターをしている先輩曰く「別荘地では撃たないから」なるほど‥しかし多すぎる。

それに現場で別荘の建物に行くために階段を登っていると目の前に鹿が‥しかも逃げない‥睨めっこの末、自分が迂回‥

そう、最近の鹿は、人間を見ても逃げないし

威嚇してくる奴もいるのだ。

熊が人里を徘徊するのと同じように鹿も進化するのだろうか。頼むから現場で機械に鹿タックルはやめてほしい。

調査士は何よりも現場だと思うので、熊も鹿もうまく共存できればいいかと思うこの頃です。

最後に皆さん現場で熊にあったらどうしますか？

デジタルな「備え」の重要性
―プロバイダー事業終了の教訓―

伊那支部長　西　村　　武

約30年も使用しているプロバイダー業者から事業終了の連絡が届きました。日頃の業務において、メールアドレスは電話番号と同じくらい事務所の「看板」とも言える重要な窓口になっていますが、今回の事業終了連絡により、長年使い慣れたメールアドレスを失う事態となりました。どうあがいても、これまでのメールアドレスは使えなくなるようです。

「ずっと使ってきたから」という安心感は、デジタル環境においては、いわば“借り物の土地の上に事務所を構えている”ような危うさを孕んでいます。今回の出来事は、デジタル面での備えの重要性を改めて認識する機会となりました。また、大手プロバイダーだからといって安心できるわけではないことも痛感しました。

プロバイダーの契約変更とともにメールアドレスが変わる状況は、今後の業務継続において大きなリスクです。これを機に、プロバイダーに依存しない独自ドメインの取得を検討することも一つの選択肢であると思います。独自ドメインで運用すれば、プロバイダーがどこになろうともアドレス変更は生じないというメリットがあります。また、Gmail等の汎用性の高いフリーメールへ移行する方法もあります。永続が保証されるわけではありませんが、現状では安定性・利便性の面で有力な選択肢と言えます。

今回の件で、特に心配しているのがメールアドレス変更に伴う重要な連絡の取りこぼしです。新しいメールアドレスに切り替えた直後は、相手側の迷惑メール判定やプロバイダー側の隔離処理により、メールが届かない可能性があるようです。実際、私自身も「３週間前のメールが遅延して届く」という事例を何度か経験しました。転送設定をしていたため気付くことができましたが、見落としにつながりかねない盲点だと感じました。

これからの連絡手段はますますネット中心になりますが、同時にイレギュラーな事態を想定した運用が必要であることを痛感しています。デジタル環境が当たり前になった今こそ、リスク管理の重要性を改めて考えておく必要があると感じています。

暑い夏の時期

上田支部　三　井　英　之

今年ももうすぐ梅雨が終わり、本格的に暑くなる季節がやってきました。

ここ５年間くらいでよく耳にした「殺人的な暑さ」と比喩的な表現をしていたものが、もはや比喩的な表現ではなく、世界中で実際に多くの命を奪う災害級の気象リスクとなってきているようです。

自分が学生の頃は、30℃を超えると猛暑とニュースでは放送しておりましたが、現在は、30℃越えは当たり前になり、年々最高気温も上がり今年は40℃を超えてくる地域も出てくるのではないでしょうか。

そこで、皆さんは、何か熱中症対策はしておりますでしょうか？

自分は、特に特別なことはしておりませんが、一番暑い時間の外での仕事を控えたり、首元に冷却グッズを使用したりしています。また、こまめな水分・塩分補給に気を付けています。

ほかになにかいい対策があればぜひ教えていただきたいです。

我々の職業は、暑い中、測量や現地立会など外での業務も多いです。あとここだけ測ろうと仕事に集中してしまい無理をしてしまうことも少なくはないと思いますが、熱中症になってからでは遅いので、これからの季節は一番に自分の命を大切にしましょう。

お互いに体調に気を付けて、この「殺人的な暑さ」を乗り越えていきましょう。



政治連盟に加入しましょう
政治連盟は調査士制度発展のために
力を尽くします

長野県土地家屋調査士政治連盟

会長　　松　本　誠　吾
〒380－0872　長野市大字南長野妻科399番地2
電　話　026－232－4566
ＦＡＸ　026－232－4601

信州青年土地家屋調査士会活動報告

信州青年土地家屋調査士会　代表　**関　原　　司**

信州青年土地家屋調査士会令和7年度代表の関原司です。

信州青年土地家屋調査士会は、交流親睦を通じて意識や技術の向上を図るために、定期的に勉強会や親睦レクリエーションを実施しています。

最近の活動内容

１月31日（土）

研修会（松本市勤労者福祉センター）

今回の研修会では、青調会Niigata前代表の渡辺先生を講師としてお招きし、「調査測量入門（土地編・建物編）」を開催しました。

青調会Niigataとは、毎年お互いの研修会に参加するなど交流を続けており、今回は以前に青調会Niigataで実施された講習内容をご講義いただきました。また、これまでの研修会は北信地域での開催が中心でしたが、今回は松本市での開催となったことで、中信・南信地域の会員にも参加いただくことができました。

講義では、業務の基礎の基礎から丁寧に解説していただき、ベテラン会員にとっては知識の再確認の機会となり、新人会員にとっては日常業務の流れを学ぶ貴重な機会となりました。

ちなみに、新潟県では公図のことを「構成図」と呼ぶそうで、地域による違いを知ることもできました。

２月21日

関東ブロック大会（栃木県宇都宮市・ライトキューブ宇都宮）

毎年開催されている関東ブロック大会が、今年は栃木県宇都宮市で開催されました。信州青年調査士会からは13名が参加しました。

研修会の前には参加者で集合し、栃木会の先生方に宇都宮名物をご案内いただきました。宇都宮餃子は、「醤油を数滴、酢をたっぷり、さらに唐辛子ペーストを加えて食べるのが宇都宮流」と紹介され、参加者一同興味深く味わいました。

研修では、以下の３講義が行われました。

- 宮城県土地家屋調査士・鈴木修塾　塾長　鈴木修先生による講演
- 栃木県土地家屋調査士　吉原先生による節税術についての講義
- 福岡県　桜町測量土地家屋調査士事務所　溝田先生による「低コストで実現する最新技術」の講義







懇親会では、各県の青年会による対抗戦形式のゲーム大会なども行われ、地域を超えた交流を深める楽しい時間となりました。



６月13日

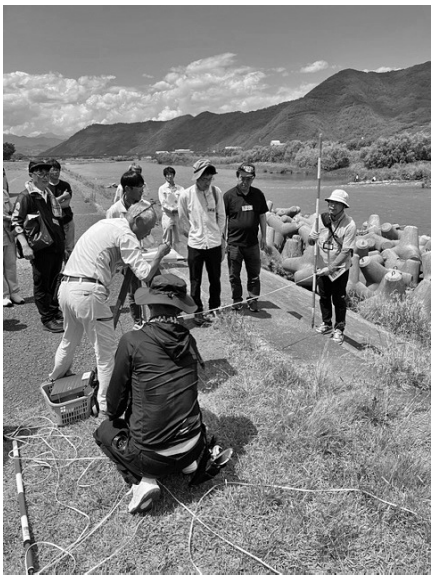
研修会（千曲市総合観光会館・千曲川河川敷）

平板測量研修

以前から実施したいと話していた平板測量研修を開催し、実地測量から補正計算までを体験しました。

講師には、信州青年調査士会所属で豊富な測量知識を持つ平井先生をお迎えしました。また、複数班での運営となるため、役員も補助として参加しました。

研修に先立ち、約２週間前には平井先生と役員４名で現地での事前研修を実施しました。さらに、参加者数が当初の想定を





上回ったため、平井先生には測量点の再確認や草刈りなどの準備も行っていただきました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

研修当日は、雲が少しかかるものの晴天に恵まれ、まさに測量日和となりました。今回は交流の深い新潟会をはじめ、今年関東ブロック大会を主管した栃木会、さらに前年の全国大会で交流のあった東京会からも参加いただき、総勢27名での研修となりました。

研修では、まず平板の設置方法を学び、その後各班に分かれて測量点を移動しながら平板測量を実施しました。私の班には経験者もいたため比較的スムーズに進行しましたが、最後に閉合線を引いたところ、250分の１の縮尺で１メートル50センチもの閉合差が発生しました。５班体制で不足した機材を代用品で補っていたため、その影響かもしれないと考えていました。

現地での測量終了後は室内へ移動し、補正計算を行いました。その結果、１メートル50センチの差のうち、実際の閉合差は50センチ程度であり、残りは距離の取り方や図面への落とし込みによる誤差であることが判明しました。

結果として理想的な成果とはなりませんでしたが、平井先生からは「昔ながらのアナログな測量方法を体験し、かつてどのように測量が行われていたのかを知ってもらいたい」とのお話がありました。私自身も非常に貴重な経験をさせていただき、測量技術の原点に触れる有意義な研修となりました。

最後になりますが、講師を務めていただいた平井先生、そして準備・運営にご尽力いただいた役員の皆さまに心より感謝申し上げます。

今年10月には岡山県で全国大会が開催されます。

「青年」と名称についておりますが年齢制限はありませんので、ご興味のある方はぜひ関原までご連絡ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

会務日誌

令和７年度

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
7.12.17	第6回 業務研修部会 ①第2回会員研修会について ②法務局への要望について ③その他	西沢副会長、久保部長、 丸山次長、各理事、 伊藤表示登記研究委員	会　　館
7.12.17	第1回 表示登記研究委員会 ①付議問題について ②土地家屋調査士会から法務局への要望について ③法務局から土地家屋調査士会への要望について ④その他	西沢委員、久保委員、 丸山委員、棚澤委員、 田中委員、馬場委員、 伊藤委員	法務局
8. 1. 6	新年挨拶回り （法務局、弁護士会、司法書士会）	田口会長、各副会長	法務局 弁護士会館 司法書士会館
8. 1. 8	第4回 ADR運営委員会 協議事項 ①関与者研修会の反省等について ②任期満了に伴う関与者推薦について ③運営委員等の員数について 報告事項 ①進行中の相談案件について ②その他	吉澤委員長、籾山副委員長、 倉﨑委員、関戸委員、 大内委員、上島委員、 宮下委員、西村委員、 久保田委員、原委員	会　　館
8. 1.14 ～ 8. 1.15	日調連第2回全国会長会議 ①連合会事業経過報告 ②連合会が取り組んでいる事項等の説明 ・筆界確認測量図の社会的浸透を図るための外部及び内部に対する広報活動の推進方針について ・令和8年度以降の新人研修における各ブロック協議会に委託する際の運営方法等について ・第2期土地家屋調査士年次研修の実施について ③令和8年度における連合会事業方針の説明 ・令和8年度事業方針大綱（案）について ・令和8年度各部等事業計画（案）について ④意見交換・情報交換	田口会長	東京ﾄﾞｰﾑﾎﾃﾙ
8. 1.19	第5回 総務部会 ①戸籍謄本・住民票の写し等職務上請求書取扱規程の改定について ②役員等選任規則の改定について ③その他	伊藤副会長、日置部長、 各理事	松本市 中央公民館 小視聴覚室
8. 1.21	土地家屋調査士法施行規則第39条の2による 非調査士実態調査	西沢副会長、浦野理事、 棚澤理事、青柳支部長、 伊藤副会長、田中理事、 宮下部長、丸山次長、 伊藤理事、黒川理事	飯山支局 佐久支局 諏訪支局 松本支局

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
8. 1.23	土地家屋調査士法施行規則第39条の2による 非調査士実態調査	堀内副会長、久保部長、 松澤理事、小池理事、 北村副支部長、 日置部長、平林部長	長野本局 飯田支局
8. 1.27	長野県行政書士会新年賀詞交歓会	田口会長	ホテル 国際２１
8. 1.30	第3回 広報部会 ①キッズサイエンス2025の振り返り ②ウィルポケット廃止と成長物語配布方法について ③広報グッズ関係について ④令和8年度事業計画及び予算編成について ⑤その他	堀内副会長、宮下部長、 浦野理事	会　　館
8. 1.30	第4回 社会事業部会 ①キッズサイエンスについて ②令和7年度の反省と令和8年度の計画について ③その他（相談会受付票・アンケート等）	堀内副会長、平林部長、 各理事	会　　館
8. 2. 3	第7回 業務研修部会(Web会議) ①令和7年度第2回会員研修会について ②令和8年度事業計画について ③その他	西沢副会長、久保部長、 丸山次長、各理事	各事務所
8. 2. 9	第3回 正・副会長会議(Web会議) ①令和8年度活動方針及び予算編成方針について ②令和8年度事業計画並びに概算予算要求について ③その他	田口会長、伊藤副会長、 西沢副会長、堀内副会長	各事務所
8. 2.13	第4回 正・副会長会議、第6回総務部会合同会議 ①会務について ②その他	田口会長、伊藤副会長、 西沢副会長、堀内副会長、 日置部長、各理事	会　　館
8. 2.13	第8回 正・副会長、部次長会議 ①日調連全国会長会議報告及び関ブロ活動報告 ②境界問題解決支援センター長野の関与者選任について ③令和8年度事業計画並びに概算予算要求について ④第4回支部長会対応について ⑤各事業部からの報告について ⑥その他	田口会長、各副会長、 各部次長	会　　館
8. 2.18	第2回 会員研修会 土地家屋調査士制度の歴史を振り返る。 現在、未来　「土地家屋調査士制度の誕生」 「住所変更登記の義務化について」 ～所有者不明土地問題の解消と、 これからの登記実務～ 「業務報酬の算定について」	会員出席者168名 松本誠吾会員 長野地方法務局 首席登記官 若菜 博紀 様 業務研修部	長野県 松本文化会館 (キッセイ 文化ホール)

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
8. 2.20	第4回 支部長会議 ①日調連、関ブロ会議等報告 ②各部から報告及び支部への要望・依頼等について ③支部長会から本会運営に対しての質問・提案等について ④意見交換 ⑤その他	田口会長、各副会長、 各部次長、 金田支部長会議長、 荒井支部長会副議長、 各支部長	会　　館
8. 2.21	第2回 綱紀委員会(Web会議) ①土地家屋調査士の非違行為に関する調査について ②その他	海野委員長、 島岡副委員長、各委員	各事務所
8. 2.25	第7回 総務部会(Web会議) ①長野県土地家屋調査士会役員等選任規則について ②その他	伊藤副会長、日置部長、 各理事	各事務所
8. 3. 6	第6回 理事会 審議事項 ①規則改定案について ②その他 協議事項 ①規則改定案について ②その他 報告事項	田口会長、各副会長、 各部次長、各理事、 品田代表監事	会　　館
8. 3.11	第8回 業務研修部会(Web会議) ①令和８年第１回会員研修会 ②その他	西沢副会長、久保部長、 丸山次長、各理事	各事務所
8. 3.14	第3回 綱紀委員会(Web会議) ①綱紀案件について ②その他	海野委員長、 島岡副委員長、各委員	各事務所
8. 3.17	第5回　関ブロ会長会議 ①令和8年度事業計画案及び予算立案の方針について ②第72回定例総会に向けた対応について ③第73回定例総会の開催予定地について ④管内各土地家屋調査士会総会への対応について ⑤ブロック協議会新人研修の開催に向けた対応について ⑥近畿ブロック協議会との意見交換会について ⑦その他	田口会長	東京土地家屋調査士会館
8. 3.24	長野地方法務局局長離任のご挨拶	西沢副会長	会　　館
8. 3.27	職員採用面接 （ZOOM対応）	田口会長、伊藤副会長、 小池理事 西沢副会長、堀内副会長	会　　館 各事務所

令和８年度

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
8. 4. 2	第1回 ADR運営委員会 ①相談案件について ②令和8年度事業計画(案)について ③令和8年度予算(案)について ④運営委員の任期について	吉澤委員長、籾山副委員長、 関戸委員、大内委員、 上島委員、宮下委員、 久保田委員、原委員、 倉﨑委員	会　　館
8. 4. 3	第1回財務部会(決算精査、予算策定)	田口副会長、伊藤副会長	会　　館
8. 4. 7	職員採用手続き	田口会長、伊藤副会長 小池理事	会　　館
8. 4. 7	令和7年度期末決算監査会 ①令和7年度下半期　業務監査 ②令和7年度下半期　会計監査	田口会長、伊藤副会長 品田代表監事、塩川監事、 藤森監事	会　　館
8. 4.10	採用職員説明、理事会等打合せ	田口副会長、伊藤副会長	会　　館
8. 4.10	第1回理事会 審議事項 ①第78回定時総会議案書(案)の総会上程 ②第78回定時総会運営について ③規則改定案について ④その他 協議事項 報告事項	田口副会長、伊藤副会長、 西沢副会長、堀内副会長 日置部長、久保部長、 宮下部長、平林部長、 丸山次長、小池理事、 伊藤理事、椚澤理事、 田中理事、馬場理事、 浦野理事、松澤理事、 黒川理事、品田代表監事	会　　館
8. 4.13	第1回関ブロ会長会議 報告・確認事項 ①第21回土地家屋調査士特別研修について ②令和７年度の決算・監査結果について ③管内各調査士会の会員数及び令和8年度会費について ④事務局職員の給与、退職金等に係る規定等について 協議事項 ①第78回定例総会に向けた対応につい ②ブロック新人研修の開催に向けた対応について ③令和8年度近畿ブロック協議会との意見交歓会について ④各種意見交換について 今後のスケジュール	田口会長	東京土地家屋調査士会館
8. 4.23	職員採用面接　他	田口副会長、伊藤副会長 西沢副会長、堀内副会長、 小池理事	会　　館
8. 4.23	長野県弁護士会役員就任パーティー	田口会長、吉澤委員長	長野ホテル犀北館
8. 4.24	第78回定時総会会場下見打合せ	伊藤副会長、大内支部長	ホテルメトロポリタン長野
8. 4.24	佐久支部総会	田口会長	佐久平プラザ２１

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
8. 5.13	第1回広報部会 ①広報部年間計画概要 ②会報ながの第220号原稿依頼について ③ホームページコンテンツ刷新について ④その他（総会対応等）	堀内副会長、宮下部長 浦野理事	会　館
8 .5.15	長野県司法書士会　第77回定時総会	田口会長	ホテルブエナビスタ(松本)
8 .5.22	第78回 本会定時総会 ・令和７年度会務及び事業報告の件 ・第1号議案 令和7年度収入・支出決算承認の件 ・第2号議案 令和8年度事業計画(案)決定の件 ・第3号議案 令和8年度収入・支出予算(案)決定の件 ・第4号議案 本会「役員等選任規則」一部改正(案)の件 ・第5号議案 本会「会則 第96条(領収証)」一部改正(案)の件 ・第6号議案 本会「会則 別紙 入会金及び会費に関する規則」一部改正(案)の件	総役員、会員 ３２６ 出席者 １１２ 委任状 １５１	ホテルメトロポリタン長野
8. 5.22	第1回社会事業部会 ①出前授業・講座・イベントについて ②その他	堀内副会長、平林部長 松澤理事、黒川理事	ホテルメトロポリタン長野
8. 5.25	埼玉会定時総会	堀内副会長	ホテルブリランテ武蔵野
8. 5.26	新潟会定時総会	西沢副会長	ホテルオークラ新潟
8. 5.27	千葉会定時総会	田口会長	京成ホテルミラマーレ
8. 5.27	茨城会定時総会	猪飼名誉会長	水戸京成ホテル
8. 5.28	神奈川会定時総会	田口会長	ロイヤルホールヨコハマ
8. 5.28	長野県行政書士会　令和8年度定時総会	西沢副会長	ホテルブエナビスタ(松本)
8. 5.29	東京会定時総会	田口会長	東天紅上野店
8. 5.29	静岡会定時総会	伊藤副会長	ホテルアソシア静岡
8. 6. 1	関ブロ新人研修実行委員会	田口会長、久保部長	東京土地家屋調査士会館
8. 6. 4	公嘱協会　第10回シンポジウム	田口会長	アルピコプラザホテル(松本)

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
8. 6. 6	関ブロ司法書士会協議会　第70回定時総会	田口会長	軽井沢プリンスホテル
8. 6. 8	第1回 正・副会長、部次長会議(Web会議) 審議事項 ①新年度の事業計画について 協議事項 ①第78回定時総会の反省について ②関ブロ定例総会、日調連定時総会について 報告事項	田口会長、伊藤副会長、 西沢副会長、堀内副会長、 日置部長、久保部長、 宮下部長、平林部長、 丸山次長	各事務所
8. 6. 9	一日合同行政相談所　（松本）	髙木会員	松本市勤労者福祉センター
8. 6.11	Ⅷ系防災会議準備 長野地方法務局飯山支局との打合せ	伊藤副会長、日置部長	飯山支局
8. 6.11	会員研修会準備 Googleﾌｫｰﾑ使い方等打合せ	久保部長、馬場理事	会　　館
8. 6.11	第2回 理事会 審議事項 ①新年度の事業計画について 協議事項 ①第78回定時総会の反省について ②関ブロ定例総会、日調連定時総会について ③土地家屋調査士会会則モデルの一部改正について 報告事項	田口会長、各副会長、 各部次長、各理事、 品田代表監事	会　　館
8. 6.16 ～ 8. 6.17	日調連 第83回定時総会 第1号議案 (ｲ)令和7年度一般会計収入支出決算報告承認の件 (ﾛ)令和7年度特別会計収入支出決算報告承認の件 第2号議案 令和8年度事業計画(案)審議の件 第3号議案 (ｲ)令和8年度一般会計収入支出予算(案)審議の件 (ﾛ)令和8年度特別会計収入支出予算(案)審議の件	田口会長、伊藤副会長、 堀内副会長、中塚会員	東京ドームホテル
8. 6.24	第2回 総務部会 ①第6回Ⅷ系防災会議について ②令和8年度 総務部事業について ③その他	伊藤副会長、日置部長、 各理事	会　　館
8. 6.26	第2回 業務研修部会 ①令和8年度第1 回会員研修会について ②本会の新人研修会の開催について ③日調連年次研修会の開催について	西沢副会長、久保部長、 丸山次長、各理事	会　　館

年月日	用　　件	出　席　者	場　　所
	④測量研修委員会と境界鑑定委員会の統合について ⑤街区基準点の使用報告について ⑥その他		
8. 7. 3	第1回 会報編集委員会 ①会報ながの第220号(令和8年夏号)編集について	浦野委員長、堀内委員、 宮下委員、池田委員、 田村委員	会　　館
8. 7. 7	第2回 ADR運営委員会 報告事項 ①相談案件について 協議事項 ①研修会について その他	籾山委員、関戸委員、 倉﨑委員、上島委員、 宮下委員、久保田委員、 原 委員、平井委員、 関 委員	会　　館
8. 7.10 ～ 8. 7.11	関東ブロック協議会 第72回定例総会 報告事項 令和7年度会務報告 議 事 (1)令和7年度 収入・支出決算報告書承認について (2)令和8年度 事業計画(案)について (3)令和8年度 収入・支出予算(案)について (4)次期定例総会開催地について (5)役員の追加選任について	田口会長、伊藤副会長、 西沢副会長、堀内副会長、 久保部長、宮下部長	埼玉県 ロイヤルパインズホテル浦和
8. 7.13	関ブロ新人研修実行委員会	久保部長	東京土地家屋調査士会館
8. 7.15	第2回 正・副会長、部次長会議(Web会議) ①第1回支部長会対応について ②その他	田口会長、各副会長、 各部次長	各事務所
8. 7.17	事務職員との面談　他	田口副会長、西沢副会長、 堀内副会長	会　　館
8. 7.17	Ⅷ系防災会議準備　豊野町水没現場等下見	伊藤副会長、日置部長	長野市豊野町
8. 7.17	第1回 支部長会議 ①第83回日調連定時総会報告 ②第72回関ブロ総会報告 ③会長からの付託事項 ④各部報告及び支部への要望・依頼等について説明 ⑤その他	金田支部長、荒井支部長 大内支部長、佐藤支部長、 青柳支部長、坂本支部長、 西村支部長、 田口会長、伊藤副会長、 西沢副会長、堀内副会長、 日置部長、久保部長、 宮下部長、平林部長、 丸山次長	会　　館

新入会員 自己紹介



上田支部　**七　尾　達　也**

①　前職

調査士事務所の補助者

②　土地家屋調査士を目指した動機

補助者以前に、民間や公務員を経験していますが、数年ごとに全く毛色の違う部署に異動していました。一つのことをつきつめ、専門家として自信を持ちたいと思ったことが、土地家屋調査士を目指した動機の一つです。

③　趣味

趣味は写真とアクアリウムです。合格するまで少し控えていた分、やりこみたいと思います。

④　挨拶

開業早々、アキレス腱断裂。調査士としてのスタートは順風満帆ではないですが、いつの日か笑い話になればよいとポジティブに考えたいと思います。今後は、社会に貢献し、信頼される調査士になれるよう、知識の習得や技術の研鑽に努めて参ります。至らぬ点もありますが、末永くご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



上田支部　**山　﨑　隆　雄**

①　前職

私は父が土地家屋調査士をしていたことから、その補助者として業務に携わってまいりました。幼い頃から父の働く姿を見て育ち、また補助者として実務を経験する中で、土地家屋調査士にしかできない仕事に大きなやりがいを感じ、この資格を志しました。

②　土地家屋調査士を目指した動機

学生時代はサッカーや友人との時間に全力を注ぎ、勉強とは少し距離のある毎日を過ごしていました。そのため資格取得までには長い年月を要し、途中で諦めかけたこともありましたが、家族や周囲の方々の支えにより、このたび登録することができました。

③　趣味

現在は家族との時間や友人との交流を大切にしています。家族旅行で思い出を作ったり、友人と食事やお酒を酌み交わしたりする時間が、日々の活力となっています。

④　挨拶

これからは、父が築いてくれた基盤に感謝し、その上で自分らしい土地家屋調査士として成長していきたいと考えています。お客様や関係者の皆様から信頼される土地家屋調査士を目指し、日々研鑽を重ねてまいります。



北信支部　**高　山　正　義**

①　前職

司法書士

②　土地家屋調査士を目指した動機

事務所全体の成長のため

③　趣味　健康法

腰痛克服＆ゴルフの飛距離アップのための筋トレ

④　挨拶

司法書士と兼業のため、調査士会の行事や集まりに頻繁に参加することは難しいかもしれませんが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

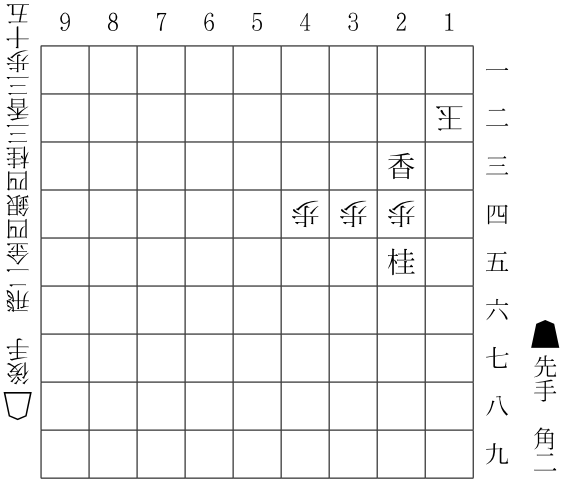
詰将棋　第46回



※解答は48ページにて掲載

（北信支部　**北　原　匡　尚**）

【第１図は初期局面】



コラム『続・T嬢のひとり言』

「不感の初耳③」
選挙結果の一票差に思う

先日、新潟県の田上町長選挙が１票差で決着したというニュースがあった。また、昨年の茨城県神栖市長選挙は、得票同数の末にくじ引きで当選者が決定したものの、その後無効票が認められて当選無効の裁決がなされ、さらにその取り消しを求めて裁判に及ぶなど、最終結果はまだ出ていない。

これらの新聞記事を目にして、今から23年前のローカル記者時代、長野県議選挙の劇的な現場を思い出した。中央のメディアは「都会的な改革派知事VS田舎の守旧派県議会」と対立を煽り、面白おかしく扱っていたが、こちらの仕事は淡々としたものである。

会社の管轄エリアに辰野町が入っていたため、上伊那郡選挙区の結果も追うことになったのだが、普段の選挙報道であれば、公式の発表を待って「〇〇候補、当選。△△票」で終わるところ、この選挙は当初、１票差で新人が勝利するという結果になった。その後、敗れた現職の陣営は県選管に異議申立てをし、投票用紙の再点検が行われた。

このニュースは当時かなり話題になり、記者仲間で現職と同じ集落の人によると、近所のおばさんが選挙当日遊びに出かけて投票に行かなかった息子を連れて、近所中を謝って回ったと言っていた。

記憶のみに頼って書くのも良くないので一次資料を探してみた。平成15年８月22日付県報がそれで、有効・無効の判断と実際の投票用紙の写しも載っている。

結果は判断が覆った票を再集計して１票差が２票差に広がり、新人が当選ということには変わりなかった。しかしよく調べると、当時は追い切れなかったことも見えてきて興味深い。

これには若い息子が近所中を謝罪行脚させられたように、地縁血縁で結びついた土着のネットワークが深く関係している。

神栖市の選挙で「まんじゅうや」と書かれた票が無効票になった。これは市選管が有効と判断したのを県選管が無効にしたものである。辰野町では「もっちゃ」と書かれた票がこれと同じく町選管で有効、県選管で無効となった。候補者の氏名と一文字しか合っていないということだったが、候補者が住む地域では同じ姓ばかりなので、親しみを込めてそのように呼ぶ人もいるということで町は有効と判断した。公職選挙法の規程で「〇〇さん」などの敬称は付けても無効にならないので、「っちゃ」が敬称に当たるかどうかまで検討されたようだ。ちなみに

県報には載っていなかったが、屋号を書いたものは有効だったと記憶している。

新人候補のほうも、一文字間違って書いた票の扱いが自治体により異なっていた。単なる書き間違いとして有効になったものが大半であったが、中川村だけは特殊事情で無効になった。候補者の氏名を一文字変えると、村内で有名な人と同じになるらしく、候補者でない者の氏名を記載した、ということであった。この判断は村と県で同じだった。

文字は同じにもかかわらず、引かれる境界線が事情によって違い、どちらに転んでも片方にとっては望ましくない結果になる。制度の曖昧さへの疑問は脇に置いても、地元自治体の選管は、迷いながらも地元の常識を根拠に落としどころを見つけたものの、現地のことをよく知らない上級官庁がそれを覆すのは、見方によっては無機質で冷たいようにも思える。

我々の仕事も、理想としては主観や曖昧さが入り込む余地なく、客観的な測量データや公の記録により境界を決めるのが良いとは思う。たとえ最終的な結果が同じになるとしても、機械的に処理するばかりでなく、その土地の事情や人間関係にできる限り寄り添い、理解しようとしたいものだ。

皆様、候補者の名前は正確に書きましょう。

（T）



編集後記

厳しい暑さが続く中、日々現場の最前線で汗を流されている皆様に心より敬意を表します。

いよいよ夏本番。この季節の現場作業は、蚊や蜂、灼熱の太陽、そして滝のように流れる汗との過酷な戦いの連続です。

私事ですが、日焼けで顔が黒くなり、汗でメイクが完全に落ちた結果、最近スマホの顔認証システムに拒否されるという悲しい事件が起きました。現代のテクノロジーすら惑わす現場の暑さを、身をもって痛感している今日この頃です。

この会報が皆様のお手元に届く頃には、私のスマホが再び私を主人だと認めてくれるようになっていることを切に願っています。まだまだ厳しい暑さが続きますが、こまめな水分補給と休息を心がけ、皆様もくれぐれもご自愛ください。

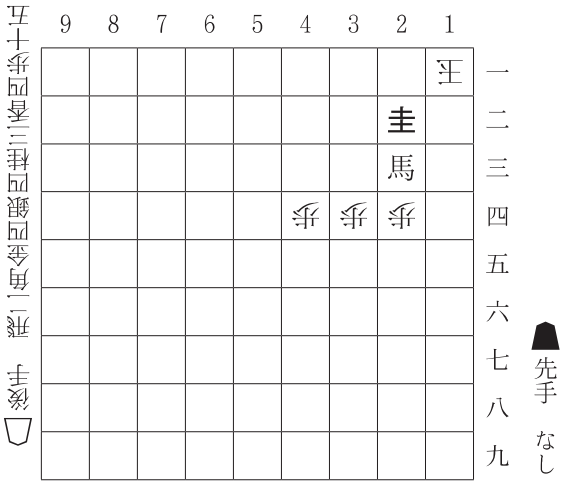
（会報編集委員　池田　愛弓）

第45回詰将棋の解答

【第１図】より…

１手：▲２一角　　２手：△２三玉
３手：▲４一角　　４手：△２二玉
５手：▲３三桂成　　６手：△１一玉
７手：▲１二角成　　８手：△同　玉
９手：▲２三角成　　10手：△１一玉
11手：▲２三成桂【第２図】

【第２図は▲２三成桂まで】



会報ながの第220号

令和８年８月29日発行

発　行　**長野県土地家屋調査士会**
会長　田　口　正　幸

編集者　広　報　部

印　刷　中　外　印　刷　㈱

〒380－0872
長野市大字南長野妻科399番地2
ＴＥＬ 026（232）4566
ＦＡＸ 026（232）4601
URL　https://www.nagano-chosashi.org/
E-Mail　naganolb@nagano-chosashi.org

KAIHO NAGANO KAIHO NAGANO